

鹿児島県の国際交流

交流会議等を核とした交流の深化と人材の育成を目指して

学校や自治会等からのご依頼に応じ、国際交流員による出前講座を行っています。申し込みはこちらから



鹿児島県は、南に開かれたアジアの玄関口として、香港、シンガポール、韓国の全北特別自治道、中国の江蘇省などアジア各国・地域との間で友好関係を結び、経済や観光、芸術、文化、青少年など幅広い分野において交流を展開しています。近年では、ベトナムハイズオン省(現ハイフォン市)や台湾(現屏東県)とも友好協定を締結しました。

また、アジアや南米を中心に、世界各国の鹿児島県人会の活動を支援し、相互に往来するなど、交流を促進しています。そのほか、英国大学への高校生派遣などの青少年による海外研修・交流や、地域の国際交流活動を支援する国際交流員(CIR)、学校における外国語指導助手(ALT)の積極的な活用など、次世代を担う国際的な視野をもつ人材の育成にも取り組んでいます。

交流のある国・地域等

対象国・地域等	交流開始時期
米国・ジョージア州	昭和41年(1966年)～
香港	昭和55年(1980年)～
シンガポール	昭和57年(1982年)～
中国・江蘇省	昭和60年(1985年)～
韓国・全北特別自治道	平成元年(1989年)～
中国・清華大学	平成25年(2013年)～
ロンドン・カムデン区	平成30年(2018年)～
英国・マンチェスター市	平成30年(2018年)～
ベトナム・ハイズオン省 (現ハイフォン市)	令和元年(2019年)～
台湾・屏東県 (<small>へいとう</small>)	令和6年(2024年)～

令和7年度の国際交流の取り組み



韓国全北特別自治道へ「志布志ちりめん太鼓」を派遣(文化芸術交流事業)



英国へ高校生を派遣(薩摩スチューデント派遣事業)



中国江蘇省との交流40周年を記念した訪問団の来県



大阪・関西万博でのバヌアツ共和国のイベントで薩摩琵琶を演奏



ブラジル鹿児島県人会によるおはら祭への参加



国際交流員による県内小学校での出前講座



かごしま国際交流センターの運営



ベトナムの魅力を紹介し、旧正月を祝う「テト・フェスタ」の開催



台湾屏東県での国際交流イベント「世界在屏東」で鹿児島をPR

留学生などが居住でき、県民との交流施設も備えた国際交流拠点として、鹿児島県と鹿児島市が共同で運営する施設です。

第22回鹿児島・シンガポール交流会議を開催

令和8年1月15～17日@シンガポール



鹿児島県は、シンガポールとの間で定期的な交流会議を行う国内唯一の自治体です。この会議を核として、これまで40年以上にわたり、さまざまな分野で交流を展開してきました。

今回の交流会議には、シンガポールの外務省、貿易産業省、政府観光局、芸術振興局、シンガポール人市民協会などの代表者にご出席いただきました。会議では、県産農畜水産物・食品等の輸出促進や観光客の増加を目指した相互の誘客促進など、幅広い分野の交流を継続することを合意しました。



観光セミナー
シンガポールの方々の嗜好に合わせて、砂むし温泉や屋久島、鹿児島島の四季など、本県観光の魅力をPRしました。



県主催レセプション 交流会議の出席者や在シンガポール日本国大使、経済・観光分野等の関係者など約120名を招待し、レセプションを開催。鹿児島が誇る県産和牛、ブリ、本格焼酎、お茶、黒酢、薩摩切子、シラス製品(緑化基盤材、石けん)などの県産品や観光のPRを行いました。

